

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4026	(H.24)No.	4026
-----------	------	-----------	------

事務事業名		社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	3	快適な道路環境の形成
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	395201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路舗装費	社会資本整備総合交付金事業(道路舗装)

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>社会資本整備総合交付金事業を活用し、既存道路の安全性向上を図るため、計画的な舗装工事を実施します。 平成22年度から4ヵ年をかけて市道北部中央線の舗装工事を、また平成23年度から3ヵ年をかけて池之谷中央線の舗装工事を実施します。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>生活道路の整備により、快適な道路環境の形成に努めます。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・市道北部中央線舗装補修工事 L=158m ・市道池谷中央線舗装補修工事 L=345m	・市道北部中央線舗装補修工事 L=290m ・市道池谷中央線舗装補修工事 L=135m	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	25,338千円	35,000千円	55,000千円		
財源内訳 (千円)	国庫支出金	13,456	19,250	30,250	
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 11,882	15,750	24,750	0	0
人工数	職員	0.05人	0.03人	0.03人	
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 365千円	219千円	219千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 25,703千円	35,219千円	55,219千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	当事業による道路舗装補修面積	m ²	-	-	-	-
	実績			-	-	1,330	4,192
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	-	-	-	49.0
	実績			47.5	46.1	45.4	44.4
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
施設が年々老朽化し、舗装補修箇所が増えてくる。	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の整備を進めます。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
厳しい財源状況の中で交付金を有効に活用し、幹線道路についての緊急性を考慮した適切な整備が必要。	市民生活に最も密着した生活道路であるため、高齢者や障害者等、誰もが安心して通行できる道路が求められている。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項
この交付金事業は平成25年度で終了です。